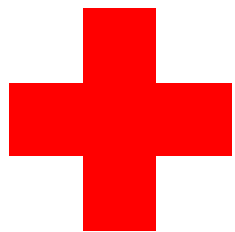


福井赤十字病院

総合診療専門研修プログラムについて





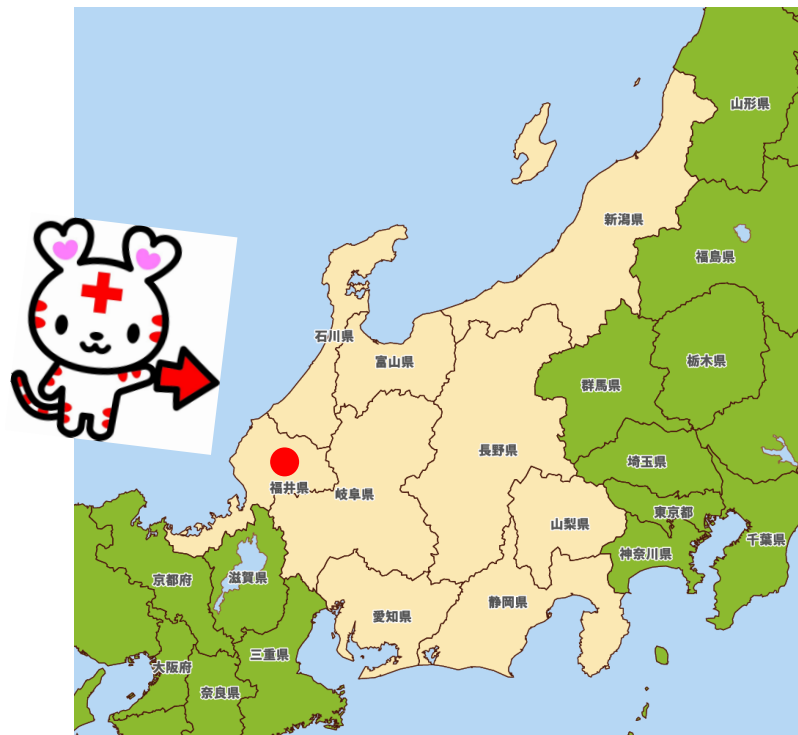
Ⅰ. 福井赤十字病院の概要①

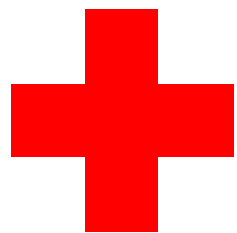
当院は福井県の北部にあり、福井・坂井医療圏に位置する中核病院です。

福井県は、北陸地方の南側にあり、関西地方・中京地方に近いです。

JRで名古屋まで1時間半、大阪まで2時間程度の距離です。

また、北陸新幹線の開通に伴い、東京までの所要時間は約3時間です。

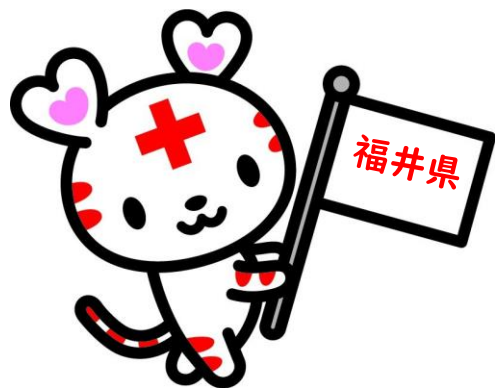


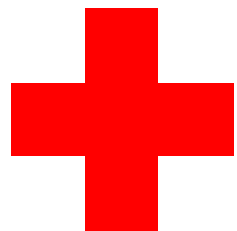


1. 福井赤十字病院の概要②

福井県はどんなところ？

海や山が近く、自然・景観に恵まれた県です。豊かな環境で、海や山の幸や、美味しい水などが評価されています。





1. 福井赤十字病院の概要③



福井県内では有数の大規模 急性期病院です。

病床数 529床

一般 520床

(ICU:8床,SCU:12床,PCU:20床)

結核 5床

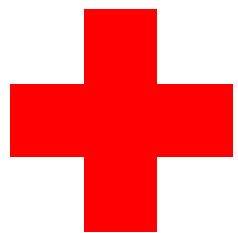
感染症 4床

職員数1,114名

うち医師 151名

(2024年4月1日時点)





1. 福井赤十字病院の概要④



 外来・入院患者数 (全科1日平均：2023年度実績)

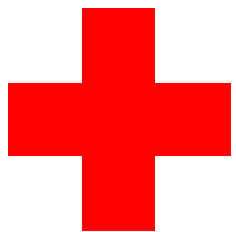
外来：1,229名 入院：397名

 研修環境の整備

図書室・電子UpToDate・インターネット環境・

休憩室・更衣室・シャワー室・当直室・

院内保育所・病児保育施設



1. 福井赤十字病院の概要⑤



当院の理念「人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。」



診療部門のセンター化構想のもと、複数の診療科が協働しながら高度な医療を担当しています。



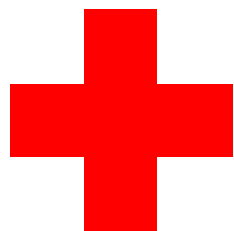
体と心にやさしい医療を提供しています。

- ・腹腔鏡下手術を多く実施。
- ・高精度放射線治療ができる『Vero4DRT』動体追尾照射が可能な機器を導入。
- ・2016年に手術支援ロボット『ダビンチXi』を導入。

 地域における一次脳卒中センター(PSC)コアとして認定されました。

脳卒中の超急性期治療から再発予防のための内科治療・血管内治療・神経内視鏡手術・開頭手術など、できるだけ低侵襲かつ有効な治療を各部門のエキスパートが24時間提供できる体制を整備。





1. 福井赤十字病院の概要⑥



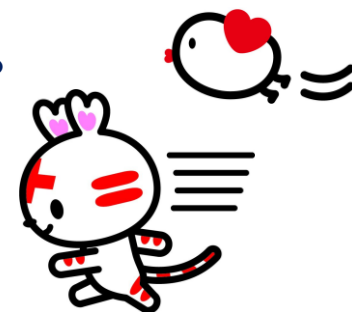
2022年より福井県のドクターヘリが運用され、
当院も患者さんの受け入れを行っています。

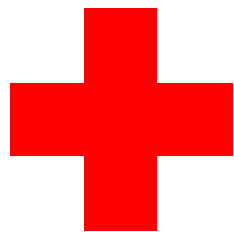
脳卒中のように一分一秒でも早い治療が必要な急性期の
患者さんが一人でも多く救えるようにドクターヘリを
活用していきたいと考えています。



院内のRRS（Rapid Response System）が稼働しています。

RRSは、院内心停止をはじめとする重大な有害事象を早期に発見し、
早期介入に繋げる安全管理システムです。





2. 救急体制について



当院は第二次救急指定病院

救急受入患者数 15,322件

救急車受入数 3,964件

(2024年度実績)



宿日直時間帯は、各診療科医師による当番制。

宿日直体制

看護師のトリアージ

内科系

外科系

SCU

小児科

産婦人科

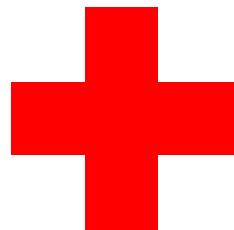




3. 診療科

標榜診療科は33科

代謝・内分泌内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、
消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、
リウマチ・膠原病内科、小児科、緩和ケア内科、
消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、
呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、
眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、
放射線治療科、病理診断科、麻酔科、救急科、歯科、歯科
口腔外科、臨床検査科



4. 当院の診療科ごとの医師数



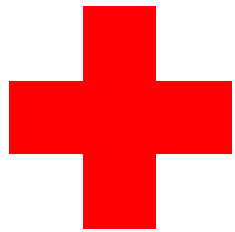
(2025年4月1日現在)

ほぼ全診療科に熟練した医師から若手の専攻医まで在籍しています。

内科系	代謝・内分泌内科	3
	血液内科	2
	脳神経内科	5
	呼吸器内科	5
	消化器内科	11
	循環器内科	6
	腎臓内科	4
	リウマチ・膠原病内科	
	総合診療科	4

精神科	1	産婦人科	6
小児科	5	眼科	4
消化器外科	11	耳鼻咽喉科	4
乳腺外科	2	放射線診断科	7
整形外科	9	放射線治療科	2
形成外科	4	麻酔科	9
脳神経外科	7	救急科	4
呼吸器外科	3	健診科	2
皮膚科	3	病理診断科	1
泌尿器科	8	歯科	3
初期臨床研修医			20





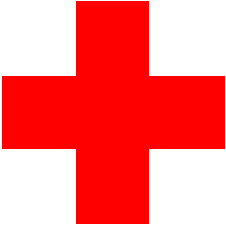
5. 専門医数

(2025年4月1日現在)

内科系の各学会の専門医数です。

日本内科学会指導医 26名、日本内科学会認定総合内科専門医 20名、
日本消化器病学会消化器専門医8名、日本消化器内視鏡学会専門医7名、
日本肝臓学会肝臓専門医2名、日本呼吸器学会呼吸器専門医3名、
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医2名、
日本循環器学会循環器専門医4名、日本糖尿病学会糖尿病専門医1名、
日本血液学会血液専門医2名、日本腎臓学会腎臓専門医5名、
日本透析医学会専門医4名、日本リウマチ学会専門医1名、
日本神経学会神経内科専門医3名、日本認知症学会指導医2名、
日本頭痛学会頭痛指導医1名、日本臨床神経生理学会指導医1名、
日本アレルギー学会アレルギー専門医（内科）1名、
日本プライマリ・ケア指導医2名、
日本病院総合診療医学会認定病院総合診療医3名、
日本救急医学会救急科専門医4名 ほか



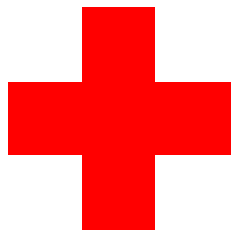


6. 研修プログラムの目的について



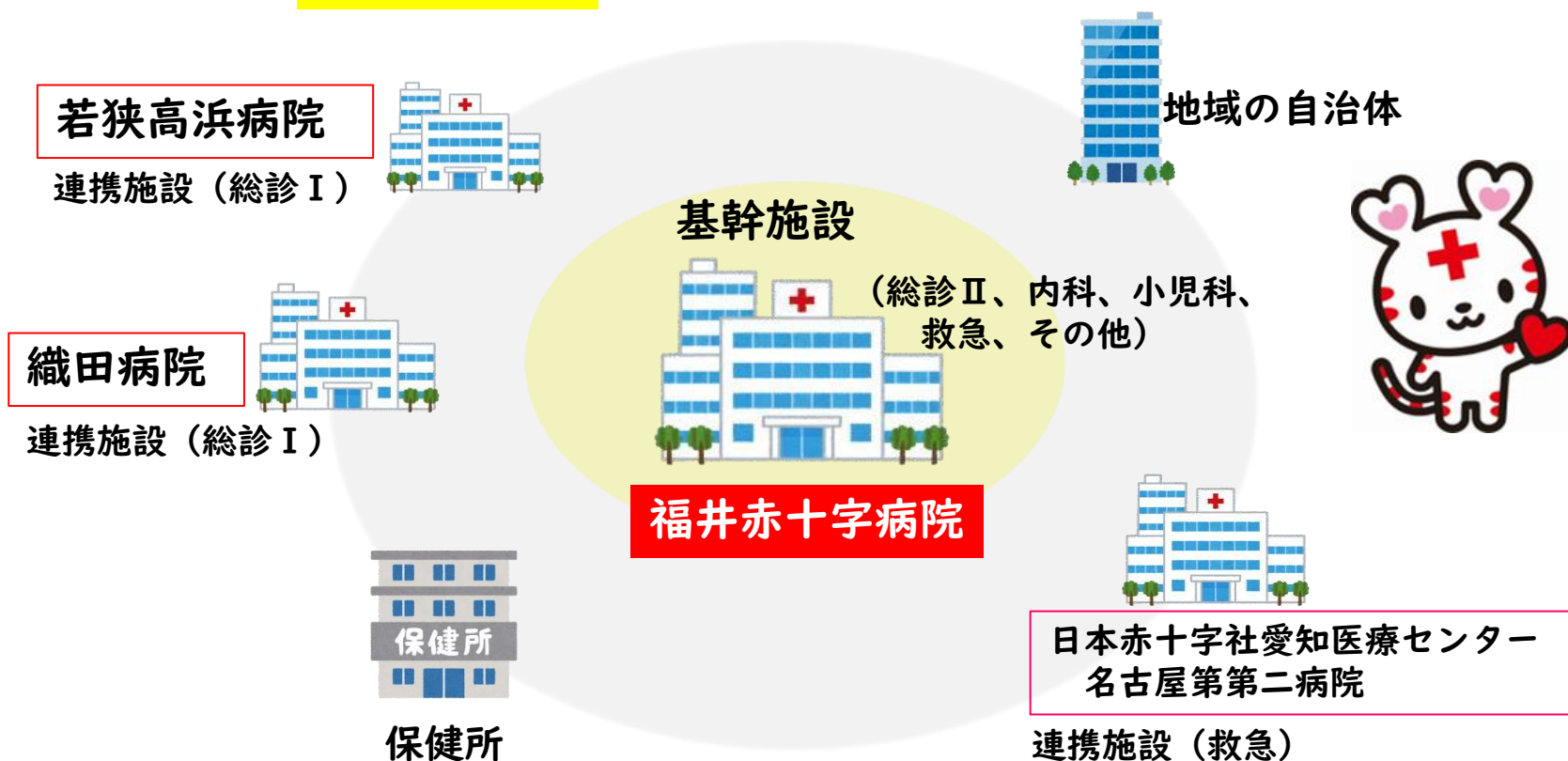
現在、地域の病院や診療所の医師が、かかりつけ医として地域医療を支えています。今後の日本社会の急速な高齢化等を踏まえると、健康にかかわる問題について適切な初期対応等を行う医師が必要となることから、総合的な診療能力を有する医師の専門性を評価するために、新たな基本診療領域の専門医として総合診療専門医が位置づけられました。

そして、総合診療医の質の向上を図り、以って、国民の健康・福祉に貢献することを第一の目的としています。



6. 専門研修の施設構成について

研修施設群



専門研修施設群は福井県内の3病院と愛知県名古屋市の1病院とで形成されています。施設群の中には、地域中核病院や地域中小病院が入っています。

7. 研修プログラムの特徴と研修モデルについて

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	福井赤十字病院											
	内科研修											
2年目	若狭高浜病院　または　織田病院						名古屋第二赤十字病院 または福井赤十字病院			福井赤十字病院		
	総合診療専門研修　Ⅰ						救急科研修			小児科研修		
3年目	福井赤十字病院											
	総合診療専門研修　Ⅱ											



研修モデル例)

1年目：【福井赤十字病院】で「内科研修」

2年目前半：【若狭高浜病院】または【織田病院】で「総合診療専門研修 I」

2年目後半：3ヶ月間【日本赤十字社名古屋第二病院】または【福井赤十字病院】で「救急科研修」

3ヶ月間【福井赤十字病院】で「小児科研修」

3年目：【福井赤十字病院】「総合診療専門研修 II」を行います。

なお、3年間の研修期間中に整形外科、形成外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科と連携して研修を行い、より幅広い疾患管理能力を習得することも可能です。



8. 福井赤十字病院の施設概要について

専門医・指導医数

- ・総合診療専門研修特任指導医 2人
- ・総合内科専門医20人 小児科専門医3人 救急科専門医4人
- ・整形外科専門医7人 形成外科専門医2人 皮膚科専門医1人
- ・産婦人科専門医5人 眼科専門医3人 耳鼻咽喉科専門医2人

診療科・患者数

- ・全科 入院患者数 148,353人／年 外来患者数 276,041人／年

病院の特徴

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域災害医療センター等の指定を受け、福井・坂井医療圏において広汎な初期から3次救急に迫る救急医療や高度医療を提供しています。

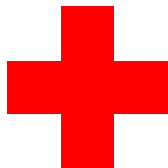
一方で、地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディジーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験できます。

【総合診療科】幅広い疾患に対する初診を中心とした診療、専門各科にまたがる問題を持つ患者に対する診療、救急科と連携した初期救急などを提供しています。

【内 科】代謝・内分泌内科、血液内科、腫瘍内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科があり、地域への専門医療を提供しています。

【小児科】急性期疾患、慢性期疾患、乳幼児健診、予防接種など、幅広い外来診療、病棟診療を提供しています。

【救急科】院内各科との連携のもと3次救急（救急救命センター）に迫る救急医療を提供しています。



9. 研修する連携施設について ①

「総合診療専門研修Ⅰ」



独立行政法人地域医療機能推進機構 若狭高浜病院

専門医・指導医数 ・総合診療専門研修指導医 1人（プライマリ・ケア認定医/指導医）

診療科・患者数 ・病院病床数 90床（令和7年5月現在）

・全科 全科 入院患者数 648人/年 外来患者数 3,178人/年

病院の特徴

若狭高浜病院は、大飯郡約2万人の地域の皆さんにとって具合が悪い時やけがをした時などにまず受診する、かかりつけ医的な存在であり、救急告示病院として地域の救急医療も支えています。地域唯一の病院として予防医療、外来診療から、入院診療、在宅診療まで一貫した日常診療を担当することができ全人的な診療を実践することが可能です。また複数の内科疾患をもった高齢者が多く、幅広い疾患に対応できる力を養いたい方には最適な環境だと思います。当院での研修の特徴は以下のとおりです。

- ① 予防から、急性期、慢性期、在宅まで常に患者と接し全人的な診療の実践が可能です。
- ② 一般病棟では、外来からの急性期患者の治療、医療療養病棟では、急性期を脱した患者の受け入れ、在宅医療の復帰支援を行います。
- ③ 内視鏡検査の研修が可能です。（令和6年度実績2,005件）
- ④ 人工透析療法の研修が可能です。（15床）
- ⑤ 福井大学医学部の地域医療推進講座の指導医などが非常勤で専攻医の指導にあたります。
- ⑥ コミュニティケアセンター（平成28年4月設置）では、住民、行政、ヘルスケア関係者と協働で地域全体の健康のための活動に参加できます。



9. 研修する連携施設について②

「総合診療専門研修Ⅰ」



越前町国民健康保険織田病院

- 専門医・指導医数 ・総合診療専門研修指導医 1人（プライマリ・ケア認定医/指導医）
診療科・患者数 ・病院病床数 55床
・全科 入院患者延数 17,239人/年 外来患者数 55,837人/年

病院の特徴

越前町国民健康保険織田病院は、福井県丹生郡内における唯一の公的急性期医療機関です。救急告示病院・在宅医療支援病院として「公平公正な地域包括医療の実践」を理念にかかげ、急性期医療から在宅医療まで幅広く担っています。主な診療圏域は越前町となっており、福井大学医学部附属病院をはじめ、福井赤十字病院、福井県立病院、公立丹南病院と密接な連携を行うとともに、地域の開業医と積極的に情報交換を行いながら地域医療を支えています。

また、16列マルチスライスCTや1.5テスラMRIなどの医療機器導入や手術室、検査室などの設備充実を図るとともに医療スタッフの拡充も図り地域から信頼される医療が提供できるよう努めています。

平成24年4月から公設民営化により公益社団法人地域医療振興協会が指定管理者となり、病院事業をはじめとし、訪問看護・訪問介護・居宅介護支援の各事業所を併設し、更に新たな分野として児童福祉法に基づく指定障害児通所支援事業所の運営受託をし、地域の発展に貢献しています。



9.研修する連携施設について③

救急科研修



日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

(救急科 3ヶ月の研修が選択できます。)

専門医・指導医数

・救急科専門医6人

診療科 28科

・内科・神経内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科・
整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血外科・小児外科・皮膚科・
泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・
歯科口腔外科・麻酔科・病理診断科・薬物療法内科・救急科・乳腺外科・
臨床遺伝診療科・精神科

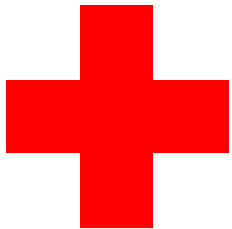
病床数・患者数

・病床数 801床

・入院患者数 23,442人／年 ・外来患者数 269,502人／年

病院の特徴

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二赤十字病院では、救急外来・HCU・ICU・SCU・CCUをはじめNICU・総合周産期母子医療センター・腎臓病総合医療センターなどの高度先進医療を提供できる施設が整備されています。その充実した環境の中で、プライマリ・ケアの高い臨床能力を備えた専門医の養成を目指すことが可能です。



10. 専門研修の目標について



総合診療専門研修は、卒後3年目からの専門研修3年間で構成されます。

1 年次修了時には

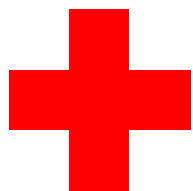
患者の情報を過不足なく明確に指導医や関連職種に報告し、健康問題を迅速かつ正確に同定することを目標とします。

2 年次修了時には

診断や治療プロセスも標準的で患者を取り巻く背景も安定しているような比較的単純な健康問題に対して的確なマネジメントを提供することを目標とします。

3 年次修了時には

多疾患合併で診断や治療プロセスに困難さがあったり、患者を取り巻く背景も疾患に影響したりしているような複雑な健康問題に対して的確なマネジメントを提供することができ、かつ指導できることを目標とします



11. 処遇・福利厚生等について



福利厚生も
充実して
います

給与（月額）	1年目 560,000円、2年目 590,000円、3年目 620,000円
賞与（年額）	1年目 1,200,000円、2年目 1,300,000円、3年目 1,400,000円
手当	時間外手当、当直手当、通勤手当、住居手当（上限28,500円）、赴任手当など
職員寮	独身寮2棟51室、空室があれば入居可（月22,000円～）
社会保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険など
医師賠償保険	団体保険は病院で加入、個人保険の加入は任意
旅費補助	学会、研究会参加は年に1回のみ旅費支給。発表の場合は旅費支給。
その他	医局に専用の机有り。 互助会（院友会）活動として、運動部・職員旅行部・文化部あり。 【運動部】 テニス・バレーボール・フットサル・野球・マラソン・バスケットボール・卓球等の部活動、レクリエーション活動 【職員旅行】 北海道・沖縄・東京ディズニーリゾート等の国内旅行 カニ・ステーキ・京懐石など 食堪能コース 参考）令和7年度：日帰り：8コース 1泊2日：7コース 2泊3日：2コース から選択 【文化部】映画・観劇・コンサート等のチケット補助等

11. 福利厚生のご案内①

独身寮（2棟）

月額：22,000円（駐車場別3,000円）

設備：カメラ付きインターフォン、IHヒーター、
ウォシュレット便座、システムキッチン、エアコン等

部屋も綺麗で
良心価格です

空室
あり



病院から徒歩5分



病院から徒歩15分



11. 福利厚生のご案内②

職員食堂



サラダバーもあり、
健康的!



その他、そばや院長オススメの
「おろしラーメン」等もあります。

医局親睦会

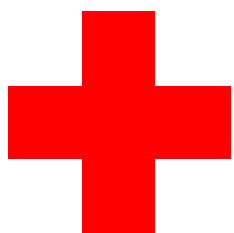


毎月1回開催：医局会

夏季：ビアパーティ 年末：忘年会

体に嬉しい
サラダバー付き
1食600円ほど





11. 福利厚生のご案内③



互助会
(院友会)

運動部

(各種部活動、ジム・スキー補助)



職員旅行

(国内の複数コースから選択)



文化部

(観劇・

映画チケット補助)





12. 災害救護について

災害拠点病院として救護活動に参加

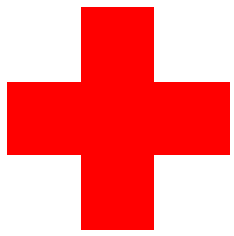


災害に備えて毎年、総合防災訓練を実施



地震や豪雨の被災地にも救護班を派遣



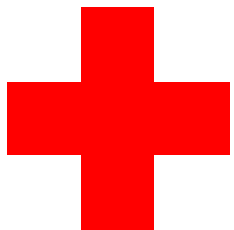


13. 最後に

プログラム責任者：道上部長より

本プログラムは、病院、診療所などで活躍する高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医を養成するために、急性期専門各科を有する地域拠点病院のなかで、専門各科と協働し全人的医療を展開しつつ、自らキャリアパスの形成や地域医療に携わる実力を身につけることが目的です。

総合診療専門研修Ⅰ（外来診療・在宅医療中心）、総合診療専門研修Ⅱ（病棟診療、救急診療中心）、内科、小児科、救急科の5つの必須診療科と選択診療科で3年間の研修を行います。



ぜひ一度、見学にお越しください。

見学対応が可能な曜日：平日（半日でも可）

申込方法： 病院ホームページ または メール にて

問い合わせ先：福井赤十字病院 教育研修推進課

〒918-8501 福井市月見2丁目4番1

TEL：0776-36-3621（直通）

E-mail：kensyu@fukui-med.jrc.or.jp

指導医からのメッセージ

病院を知る為にまずは見学に来てみてください。

見学内容の希望をどんどん伝えてもらえれば、

出来るだけ沿えるようにします。

充実した1日にしましょう



2026年度専攻医 募集要項

総合診療科専門研修プログラム

募集予定専攻医数：2名

処遇等について

採用処遇：常勤嘱託医師

試験方法	面接・口頭試験
試験日	個別に日程を調整して試験日時を設定します。
採用可否の連絡方法	面接日以降、速やかに本人あてに連絡します。
出願書類	自筆の履歴書（当院指定のものでA4両面、押印、写真貼付） ダウンロード 医師免許証の写し
出願方法	福井赤十字病院 教育研修推進課 に上記書類を 郵送（簡易書留）または 持参
出願提出先、 研修プログラム等 の問い合わせ先	福井赤十字病院 教育研修推進課 専門研修担当 住所：〒918-8501 福井市月見2丁目4番1号 TEL：0776-36-3621（直通） E-mail： kensyu@fukui-med.jrc.or.jp